

# 復興研究会報告

NO.11(平成28年度 第4号)

発行

岩手県立大槌高等学校

復興研究会・O A部

発行日

平成28年10月13日

## 第11回定点観測

9月24日(土)と25日(日)に第11回定点観測が行われました。この活動は神戸大学近藤研究室の方々と、町方復興CMrの方々のご協力のもと行っている活動です。年に3回行い、1回につき180か所の地点を震災前と同じ場所・角度から撮影し、視覚的に復興の様子を町内外の方々に伝えていけるように活動しています。今回は2部構成で行い、普段の活動のほかに2日目の午後には神戸学生の方々と交流をしました。その参加者の感想を一部紹介します。

今回の定点観測では、復興に関わっている方と話をする機会が多くありました。これからの町の様子だったり、どのような施設や建設物が建てられるのかなど様々なことを聞くことが出来ました。私は、高校生活の中で残り一回しか定点観測に参加することが出来ませんが、今回の観測で1,2年生が中心となり活動を進めてくれたので、安心して引退出来そうだと感じました。

3年女子



今回の活動で私は子供達と触れ合い、会話をする大切さを知った。子供達は普段見られない高校生に緊張していたり、また前回の活動時に触れ合った子供達もいて遊びたくても恥ずかしがって、悪戯をする子供もいた。私は不器用ながらも自分の気持ちを伝えようと必死な子供も中にいると感じた。

3年女子

キッズステーション活動に参加するのは二回目だったが、子供達と触れ合うのは難しいことだと感じた。今回は子供達と打ち解けることができず苦悩したが、何度も話しかけていくうちに子供達の方から積極的に話しかけてくれたり遊びに誘ってくれたので、とても嬉しかった。

3年女子

町方は前回の観測と比較して道路が整備されていたり、工事が進んでいたりと変化が大きいなと感じました。町を歩いて震災前のような歩道橋ができてほしいなと思いました。

2年女子

町方の復興が前よりもかなり進んでいるということがわかりました。大槌の町を上から見たとき、全体的に道路が出来上がっていました。私たちの班は人数が少なく、大変でしたが、楽しく定点観測することができました。

2年女子



私は、今回初めて定点観測に参加しました。二日目の定点観測では吉里吉里で観測を行いました。久しぶりに町を歩いてみると新しい建物や道路などが出来ていることに気づき町が復興してきていると感ずることが出来ました。

2年男子

震災前の大槌にあった建物には、面影が全くなくて、どこだか分からないところが未だにあり、震災の恐ろしさを知ることが出来ました。道路などの生活になくてはならない場所は復興が進んできていて良かったです。

1年男子

今回の定点観測では、これまでと比べると変化がとてもあったように感じられました。末広町の所に公園が作られる所が見られたので良かったです。次回の定点観測では、もっと家の建設が始まっている所があれば良いと感じました。

3年女子

今回で約四日目の参加になるので、前とどのように変わったのかというのを見ていきたいと思っていました。赤浜は、盛り土も進んでいて全然違う風景で驚きました。また、土曜日のワークショップでは、初めてのやり方だったので新鮮でとても面白かったです。

2年女子

